



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ **令和3年3月号**  
進められています。町民と子どもたちのかかわりを中心に、子どもたちの生き  
生きした様子をお伝えいたします。

## しみず保育所

### 清水中学校のみなさんからのプレゼント



先日、清水中学校のお兄さん、お姉さんたちから布やフェルトを使った手作りの釣りのおもちゃをいただきました。

子どもたちは初めて見るおもちゃに大喜び！自由遊びの時間には一目散におもちゃで遊ぶ子どもたちは真剣な表情で、釣れた時には「釣れた～！！」と子どもたち同士で喜び合

っていました。お題に沿った文字を探したり、釣れた文字でしりとり等をしたり、遊びを通して文字に物に興味を高めていました。

手作りおもちゃの温かさを感じながら毎日楽しく遊んでいます。

清水中学校の皆さん、ありがとうございました。



# 御影こども園

## きれいなお花ありがとう



3月21日(日)第48回御影こども園卒園式を行いました。

感染症対策として、卒園児、その保護者、職員のための式でしたが、在園児からビデオメッセージがあったり、自分達の春夏秋冬の思い出を発表したりと短い時間でしたが思い出深い式になりました。

参列人数も少ないので、寂しくならないようにと職員も工夫を凝らした装飾をしていましたが、文字通り式に花を添てくれたのが、清水高校から頂いたペチュニアとひまわりの花です。

今年も満面の笑みで入場する卒園児達の花道を飾ってくれました。

お花は式の後、各家庭で持ち帰り、残ったものは園の玄関に飾ってあります。

式に参列できなかった小さな子も、それを見て「きれいだね」と喜んでいました。

清水高校の皆様、ありがとうございました。

# 清水幼稚園

## アイスアリーナ氷上遊び

2月25日、バラ組とさくら組はアイスアリーナへ氷上遊びに行ってきました。

バラ組は去年の経験を生かし、準備も早くできましたが、さくら組は初体験で苦労していました。何とかヘルメットを装着し氷上に向かいました。



はじめは、足慣らしとして2チームの対抗で「そり」を使ったゲームを行いました。バラ組はすいすい上手に氷を歩いていました。



その後は、各クラスに分かれ、長靴ホッケーと「そり」を使って楽しみました。

長靴ホッケーは、子育て支援課の職員の指導を受けながら滑りました。

最後に宝探しゲームで大賑わいの中終了

しました。

アイスアリーナや支援課の皆さん、バスの運転手さんお世話になり、ありがとうございました。



## 清水小学校

### スキーボランティアの皆さんのおかげです



清水小学校では、中学校から始まるスキー授業に向けて、6年生がスキー体験を行います。

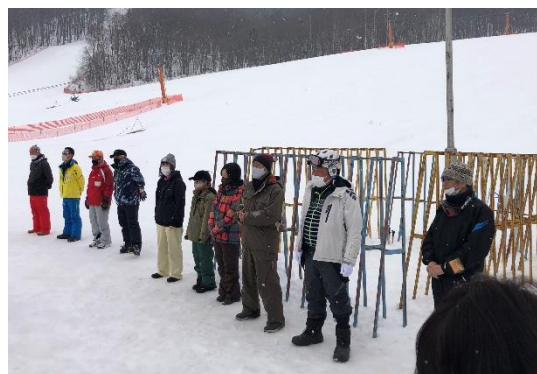
2月15日、新得山スキー場に出かけ、午前中いっぱいスキーで滑ったり、歩いたり、転んだりしました。

たくさんのボランティアの皆さんにお手伝いいただき、思う存分スキーを楽しむことができました。初めてスキーに挑戦する子も多く、ボランティアの皆さんにはご苦勞をおかけしましたが、子どもたちは大満足だったようです。

Yくん「指導者の方々が教えてくれたおかげで、上手くすべることができました。」

Rくん「中学校でもスキー授業があるので、できるだけすべれるようにしたいです。指導してくれてありがとうございました。」

Tくん「ボランティアの人たちがいろいろと指導してくれたので、すごく成長したということが実感できました。」



# 御影小学校

## 日本の伝統文化体験学習～素晴らしさと奥深さ～

2月9日（火）、本校6年生が日本の伝統文化の体験学習を行いました。

「三味線」「華道」「剣舞」の3種目に子どもたちが分かれて学びました。講師は、町生涯学習ボランティアとして、三味線サークル、華道連盟、神刀流剣詩武道会から計6名を派遣していただきました。

各種目、講師の先生のご指導のもと、3時間ほど練習や作品づくりをした後、体育館に集まって、発表会をしました。三味線は「さくら」の曲の演奏、華道は桜やカーネーションなど色とりどりの花材を使って自由に生けた作品、剣舞は鞘付きの木刀や扇子を使っての演武をそれぞれ発表しました。どの種目も、短い時間での練習・準備であったのにもかかわらず、子どもたちは立派に発表することができました。

子どもたちは、「難しかったところもあったけど、楽しく取り組むことができた。」「講師の先生がやさしく教えてくださったので、安心して学ぶことができた。」「前から興味があったので、体験できてうれしかった。」などと感想を発表していました。講師の先生方も、

「子どもたちが一生懸命取り組んでくれたので、嬉しかった。」と話されていました。

子どもたちは、普段できない貴重な体験ができ、日本の伝統文化の素晴らしさや奥深さについて感じ取ることができたのではないかと思います。ご指導いただいた講師の先生方に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



【三味線「さくら」の演奏】

# 清水中学校

## 3年生が卒業！地域の皆さん、ご指導ありがとうございました！

暖かい日差しが日毎に強くなり、春の訪れを間近に感じられる3月15日、第74回卒業証書授与式が行われました。今年は50名の卒業生が大きな夢と希望を胸に本校を巣立っていきました。

今年度はコロナ禍により様々な活動が制限され、学校行事の変更や最後の中

体連の中止があるなかでも、決して笑顔を忘れることなく、しっかりと前を見つめ清水中の最高学年として学校をリードし頑張ってくれました。

地域の皆さんには、特に書写ボランティアや総合的な学習の時間でのバス学習や職場体験学習など、様々な教育活動でご指導・ご協力いただきました。その中で、生徒たちは皆さんからたくさんの温かい支援を受けていることを学習し、今後も清水町の一町民として、地域を理解し、清水町を盛り上げていきたいと考えるようになりました。

深く感謝申し上げるとともに、これからも清水中学校の教育活動に対してまして、温かいご支援ご協力をお願いいたします。



## 御影中学校

### 認知症サポート養成講座

3月9日（火）の3、4校時、3年生を対象に「認知症サポーター養成講座」を行いました。

清水旭山学園より、小林様、村井様をお迎えし、毎年行っている講座です。

認知症サポーターとは何か特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者」であり、その上で、自分のできる範囲でサポーターとして活動することです。

講座の終わりには「認知症の人を応援します」という意思を示す「目印」であるオレンジリングが渡されました。

今回の講座で得た知識を生かし、近所で気になることがあればさりげなく見守る、



まちなかで困っている人がいたら手助けする…そんなことができる大人になって欲しいと思います。

## CS 委員会

### “教育の四季” 12 の窓の評価と めざす子どもの姿 を出し合う

2月22日と25日に、御影・清水の両中学校を会場に CS(コミュニティー  
スクール)委員会が開催されました。

これは、地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度に基づく  
もので、清水町では2年目を終えるところです。

会議ではまず、幼稚園及び各小中学校の評価資料により取組結果の報告がさ  
れ承認されました。続いて、清水町独自で取り組んでいます“しみず教育の四  
季”の本年度目標についてグループに分かれ、「町ぐるみで子どもたちを育て  
いくための目標としてはどうであったか」、また、「めざす子どもの姿とはどの  
ようなものか」について出し合いました。

出された様々な意見は、来年度の“しみず教育の四季”の目標設定、さら  
には本町が進める小中一貫教育の指針に活かしていくこととしています。

